

草の根協力支援型

2016年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	マレーシア
2. 事業名	持続可能な生態系サービス向上に向けたESD活動基盤づくりプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ボルネオ島北東部サバ州の中でも野生生物相が極めて豊かな地域であるが、森林などに対する開発圧力は高い状態にある。これら森林等は地域住民の生活基盤となっているが、大規模な農地転用などにより生物多様性、生態系サービスの維持向上が脅かされ、早急な保全対策が必要である。また、この地域の生物多様性保全の状況がボルネオ島全体に影響しており、多様性の劣化を食い止める対策の実施が必要とされている。一方、政府はこれまで様々な環境保全対策を講じてきているが、これら対策により地域住民の生産活動の場が奪われるなど新たな問題が発生し、地域における貧困問題がより深刻となることもあった。このため、地域レベルの自然環境問題の解決にあたっては、一方的な規制措置のみではなく、自然資源を持続的に活用した新たな産業振興策を講じるなど、バランスのとれた対策が必要である。
4. プロジェクト目標	研修プログラム等を作成し、研修を実施していくことで地域主体の生態系サービス維持向上活動が強化される。
5. 対象地域	サバ州キナバタン郡 活動地域：コタキナバリ、モヨ川地域、キナバル山南麓地域
6. 本事業の対象となる人々	キナバタン郡、RCEキナバタン参画団体（24団体（郡役場・州政府・NGO・Local Community Org.等）、サバ州
7. 事業活動	<活動> 1. ESD推進に資する研修カリキュラムを作成する。また、研修に必要となる教育プログラム、教育マテリアルはKOPELで実践されている活動をベースに作成する。 2. 研修プログラムを実施する際に必要な子どもや住民向けのテキストおよび標本などの教材を作成する。 3. 住民参加型双方向データベースシステムを作成し公開する。 4. 他地域での研修プログラムの試行とプログラムの完成。
8. 実施期間	2019年5月～2021年5月（2カ年）
9. 事業費概算額	9,241千円
10. 事業の実施体制	本事業は、当法人とキナバタン郡役場が連携し、KOPELなどRCEキナバタンに参画している活動団体との共同作業により、研修プログラムを作成。サバ大学やサバ州政府機関の協力のもと、キナバタン郡地域外で試行し、汎用性を高める。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	特定営利活動法人EnVSION環境保全事務所
2. 活動内容	自然環境・生物多様性保全に寄与することを目的とし、野生動物の調査・研究、環境教育、環境情報の提供などの活動を行っている。